

巻頭言

防除所業務に携わって



茨城県農業総合センター 小 河 原 孝 司

私は茨城県職員となって三十数年が過ぎ、これまで研究、普及、専門技術指導員という立場で園芸作物の病害虫防除の仕事に携わってきました。今年4月からは病害虫防除所勤務となりました。これまでも防除所と連携する機会は多かったものの、実際に中で仕事をするのは初めてで、普通作物の病害虫や農薬など勉強の日々が続いています。本県の防除所では、令和6年4月～8月にかけて病害虫発生予察注意報を3件、病害虫速報を8件の計11件の情報を発出しました。この数は例年よりかなり多く、果樹カメムシ類、斑点米カメムシ類、オオタバコガ、シロイチモジヨトウなど、ほとんどが害虫に関するものでした。これら害虫は全国的に多発生したため、近隣の防除所との情報交換、農水省HPやJPP-NETに掲載される全国の病害虫発生予察情報は有益な情報となりました。

茨城県の病害虫防除所は、正職員8人（防除指導課3名、発生予察課5名）、会計年度任用職員3名で組織され、県内の主要な農産物を中心に、発生予察事業、植物の検疫、病害虫防除指導、農薬安全使用指導、病害虫雑草防除指針・果樹等病害虫参考防除例の編成業務、病害虫防除員との連携等の業務を行っています。本県の場合、防除所は昭和27年に県内14箇所（箇所）の地方事務所に設置され、昭和36年に4箇所（箇所）に再編、平成12年に1箇所（箇所）に完全統合され、平成28年に農業総合センターの病害虫防除所として再編・移転し、現在に至っています。茨城県は農業が盛んで、耕地面積も広く、栽培品目も多岐にわたります。現在、農作物有害動植物発生予察事業で本所が担当するのは23農作物（作型含む）、巡回調査地点数は約350地点と多く、調査スケジュールは緻密に組まれ、天候不良で調査ができない場合には週の合間に再調整するなど、苦勞してやりくりしている状況です。県内1箇所（箇所）の事務所を拠点に、発生予察課の職員で行うことができる調査量には限界があり、いかに効率化し、かつ、情報の質を落とさないよう提供できるかが課題となっています。丸一日、圃場調査に奔走し、すくい取りや誘殺灯で採集した害虫の種類ごとの計数、データをまとめる作業に日々取り組む職員に頭が下がる思いです。

短期間で発生状況の調査・データ整理・予報作成・内容検討・発表を行うため、職員は調査圃場で発生する病害虫の迅速な診断が求められます。経験の少ない職員にとって病害の初期症状や若齢害虫などの判断に悩む場面

も多く、また、今後の病害虫の発生を予測するうえでも経験豊富なベテラン職員の支援がとても大切になります。異動のタイミングが悪く、経験者が不在になった場合には業務効率が格段に落ちてしまうことが考えられます。また、経験の豊富な職員であっても診断に悩む場面はあります。特にウイルス病は、初期病徴が生理障害と区別しにくいことや、症状が酷似した複数のウイルス病があるなど、見た目での診断が難しい場合があります。そのようなときには、メジャーなウイルスであれば、海外製のイムノクロマトキットを購入して診断できますが、キットが販売されていないウイルスの可能性がある場合には、本県では園芸研究所に持ち込み、遺伝子による診断を依頼しています。近年、園芸研究所では、県内で問題となるウイルス病で診断キットが販売されていないウイルスについて、民間企業と協力してイムノクロマトキットを開発、商品化（商品名：アグリパレット®）し、そのラインナップを少しずつ拡充しています。イムノクロマトキットは、遺伝子診断の実施が難しい防除所にとって極めて有用なツールとなっています。防除所業務の効率化にもつながるため、今後、このような迅速診断可能なツールの開発が望まれます。

話は変わりますが、本県では「茨城県病害虫研究会」という組織活動を続けており、定期的な情報交換を行っています。その歴史は古く、1960年に創設されて以来、本年で64年目となりました。現在の会員数は172名、賛助会員14団体で、県の研究所・防除所が中心となって発表会・会報作成等の活動を行っています。会員の所属は、研究所、防除所、普及センター、茨城大学、鯉淵学園、農業大学校、日本植物防疫協会、農薬メーカー等で、幅広い所属、年齢で構成されています。私は、この歴史のある研究会の会長を本年度から仰せつかり、身の引き締まる思いと同時に、そんな年齢になってしまったことを実感しました。会則「本会は会員相互の病害虫研究の向上並びにその防除法の普及を図り茨城の農林業の発展に寄与すること」を目指し、会長の役目を果たせるように努力していきたいと思えます。本会の研究会報は毎年発行し、昨年度で通算63巻となりました。これら会報はすべて、農林水産研究データベース「アグリナレッジ」でどなたでも閲覧可能となっています。ぜひ一度アクセスいただけますと幸いです。

（茨城県病害虫研究会）